

視察日程：令和8年3月26日（木）～3月27日（金）

視察先：東京都内（西新宿ほか）

所属：篤心会

氏名：神谷 定雄

---

### 視察目的

本視察は、地方議員として必要な政策立案能力の向上を図るため、以下の事項について研修・情報収集を行うことを目的として実施した。

1. 生成 AI の基礎理解と行政への活用可能性の把握
  2. 地方財政の現状と課題の整理
  3. 防災庁設立に向けた国の動向の把握
- 

### 【本文】

#### 1. 視察内容と所見

---

##### (1) 生成 AI (ChatGPT) 基礎セミナー (1 日目)

###### 内容：

生成 AI の基本的な仕組みおよび行政・議会活動への活用方法について講義を受けた。主な内容として、文章作成や要約、議事録作成の効率化、一般質問や政策立案における情報整理支援、住民対応の自動化の可能性などが挙げられた。また、誤情報の生成や情報管理といったリスクについても説明があった。

###### 所見：

生成 AI は業務効率化にとどまらず、政策形成を支援する有効なツールであると認識した。特に議会活動においては、質問原稿の作成や資料整理の時間短縮に大きく寄与する可能性がある。一方で、出力内容の精査や情報セキュリティ対策が不可欠であり、適切な運用ルールの整備が前提となる。今後は試験的に活用し、実務への導入可能性を検証していく必要がある。

---

##### (2) 財政問題セミナー (2 日目)

###### 内容：

地方財政の現状と課題について、歳入構造の硬直化、社会保障費の増大、財政指標（将来負担比率・実質公債費比率）の重要性などの観点から講義を受けた。また、議員として求められる財政チェックの視点についても説明があった。

###### 所見：

財政運営は将来世代への責任を伴う重要な政策判断であり、単年度の収支だけでなく中長期的な視点での分析が不可欠であると再認識した。議員としては、各事業の費用対効果や優先順位を明確にし、限られた財源の中で最適な政策選択を行う必要がある。今後は財政指標を根拠とした質疑・提案を行い、持続可能な

財政運営に寄与していく。

---

### (3) 防災庁設立に関する省庁レク（2日目）

#### 内容：

防災庁設立の背景として、災害対応における司令塔機能の強化や省庁間連携の必要性が示され、迅速な意思決定体制の構築や平時からの備えの重要性について説明があった。

#### 所見：

近年の災害の激甚化・頻発化を踏まえ、国レベルでの統合的な防災体制の構築は不可欠であると感じた。地方自治体においても、受援体制の整備や避難所運営の充実、地域防災力の向上が求められる。今後は、実効性のある防災対策を推進するため、国の動向を注視しつつ地域の実情に応じた施策を検討していく必要がある。

---

## 2. 総括

本視察を通じて、今後の自治体運営および議会活動において重要となる視点を改めて認識した。

まず、生成AIをはじめとする新技術の活用は、単なる業務効率化にとどまらず、政策立案や住民対応の質の向上にもつながる可能性を有している。今後は、情報の正確性やセキュリティに十分配慮しつつ、議会活動や行政実務において段階的に活用を検討していく必要がある。

次に、財政運営については、社会保障費の増加や財源の制約が続く中で、より一層の規律と戦略性が求められている。単年度の収支だけでなく、中長期的な視点から財政指標を的確に捉え、事業の優先順位や費用対効果を見極めた上で、持続可能な財政運営に資する議論を行っていくことが重要である。

さらに、防災分野においては、国による体制強化の動きを踏まえ、地方自治体としても実効性のある対応力を高めていく必要がある。特に、災害時の初動対応や受援体制の整備、情報共有の迅速化など、現場で機能する仕組みづくりが求められる。

これらの学びを踏まえ、今後は具体的な政策提案や一般質問に反映させるとともに、市民の安全・安心の確保と行政サービスの向上に資する取組を着実に進め、持続可能なまちづくりの実現に努めていく。